



後藤 剛夫さん

平成6年 医学部卒業
大阪市立大学
医学部附属病院

責任が重いほど、大きな喜びに。

医学部では患者さんと接しながら学ぶ機会があり、生きた知識を得ることができました。新米の頃は朝が早く、夜も緊急で呼び出されることが多く、責任の重さを痛感しました。だからこそ、手術が成功して患者さんとそのご家族の笑顔を見た時は、医師として最大の生きがいを感じます。目標は、皆さんに信頼される医師になりたいです。

大学時代をどう過ごすかが大切。

大学院では仲間と大阪市内の街並みを見てまわったり、学会で他大学の学生と交流するといった活動に力を注ぎました。公務員になろうと思ったのは、これらの活動を通して知った大阪市の魅力を、他の地域の人々に知ってもらいたかったからです。市大を目指す皆さんもぜひ、自分の中でこれだけは頑張ったと言えるものを見つけてください。

坂 真由子さん

平成11年 生活科学部
大学院卒業
大阪府役所 住宅局



岩橋 摩紀さん

平成6年 理学部卒業
小野薬品工業(株)
医薬品化学研究所

学生の間、一生懸命うち込めるものを。

理学部で有機化学を専攻していたので、将来は実験で得た知識を生かせる職業に就こうと決めていました。また生物学にも関心があったので、人のためになりやりがいいのある新薬を開発する仕事に携わっていいこと思ったんです。市大で学んだことは現在の仕事に直接役立っている。生きた学問を学べたことを今、改めて実感しています。

自分の能力を生かせる自己実現の場。

私は業務用エアコンを設計する仕事をしています。機械を組立てるにはその仕組みを知ることが重要なのですが、その点で私が工学部で専攻していた「制御」という理論が役立つと思っています。市大での勉強は実に有意義なものでした。今後は設計の仕事だけでなく、物作りを通してさまざまな仕事に関わっていきたくと考えています。

梶本 明裕さん

平成6年 工学部卒業
ダイキン工業(株)
空調生産本部



澤田 加奈さん

平成8年 文学部卒業
神戸山手女子高等学校
国語科教諭

恐くてやさしい先生が理想です。

卒業した教え子が近況報告に訪ねてくれるそんな関わりを持つ教師という職業に大きな喜びを感じます。生徒には、「頭で理解して心で感じる人になってほしい」とよく教えているのですが、分別できる頭と豊かな心は社会で必要な力だと思います。私が文学を通していろいろな生き方を学んだように、生徒にも何かを感じてもらえればいいですね。



石濱 敦子さん

平成7年 法学部卒業
ニチメン(株)
フーズ事業本部

新しい価値を創造する楽しさ。

海外から野菜を調達し国内に供給する仕事をしています。私が商社を志望したきっかけは、大学時代に旅行した西サモアでの体験からです。日本の蚊帳が現地マリアリア対策に重宝されているのを見て、同じ物でも違う所へ移動すればまた新たな価値が生まれることを知り、衝撃を受けました。今後は新しい価値や商品を作る仕事をしていきたいですね。



井上 善弘さん

平成6年 経済学部二部卒業
大阪府役所 財政局

市大は、働きながら学べる平等な大学。

私は一部に通っていたので社会人の方と接する機会が非常に多く、そんな人間関係の中で得た「人との接し方」が今の仕事に役立っています。一部に通う学生は仕事と勉強の両立に不安を感じるかもしれませんが、同じような仲間がたくさんいます。教授も温かく見守って下さっています。「絶対両立させるんだー」という気持ちでぜひ頑張ってください。



笹山 直孝さん

平成5年 商学部卒業
新日本監査法人
主任公認会計士

目標は、信頼される“真”のプロ。

これから株式公開をしようとする会社のコンサルティングや上場を支援する仕事をしているのですが、担当する会社が上場を果たした時は大きな達成感を感じます。また役員の方々から信頼を受け、相談していたただける立場にあるのもうれしいことです。今後は会計士の中でも誰にも負けないようなプロ中のプロを目指したいと思っています。



卒業生に聞く、仕事とは。

さまざまな分野で活躍している市大卒業生の方々に、仕事のことや、将来の夢などについて語っていただきました。